

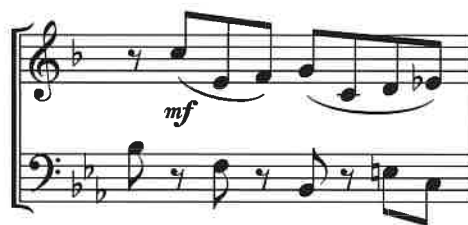
『はじまりの鼓動』 寸評

- ・ 楽器の選択も相まっておちついた雰囲気のある舞曲
- ・ どことなくモーツァルトをおもわせる優美さ
- ・ 曲の推移、アーティキュレーションへのめくばり、ダイナミックのどれかがきわめてなめらか
- ・ とりわけCl. の旋律がみごとなまとまり
- ・ ♩=80 はドキドキする速さではない気がする

完成度をさらに上げるために

- ・ グループ括弧をつけよう→

- ・ m.4 属和音にしたいのでCl. とFg. を修正



- ・ m.5 b.2 Cl. は旋律短音階のファ# (実音ミ) にしたい



- ・ m.10 b.1 へ短調のII7の機能をはっきりさせるため

Cl. はミb (実音レb) を用いる



- ・ m.12 Fg. m.8 と同様のリズムで区切りをつけたい

それにあわせてOb. に第3音をもってくる



- ・ m.11 *ff* が求められる音楽内容ではない気がする

- ・ ファゴット (イタリア語) の省略表記がBsn. (英語) 統一しよう

- ・ m.9, 11 記譜



m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

よく吟味された音遣いですね。

持麿 勉